

2021 年度 「海外文化実習」 報告書



< 編者・報告者 >

山本さくら・磯貝ひより

正山阿智・鈴木日菜・永田優衣

(横浜市立大学 国際教養学部)

2022 年 3 月 25 日発行

まえがき

本報告書は、2021年度前期科目「海外文化実習」における、授業内での発表及び実習活動の内容をまとめたアクティブ・ラーニングの活動記録である。8月にイギリスのケンブリッジにて語学と文化を学ぶサマーコースを受講し、その後ロンドン、オックスフォードなどでフィールドワークを行う予定であったが、コロナ禍の影響で海外渡航は断念せざるを得なかった。そこで、前期15週間の授業は通常通り行い、海外実習の代替として、夏季に10日間のイギリス人講師による集中講義をオンラインで実施し、横浜にあるイギリス文化施設を訪問したり、オンラインのロンドンツアーに参加したりするなどして、海外実習に代わる活動を国内で実施した。

前期の週1回の授業では、事前学習として、訪問先の文化、歴史、及び各自のフィールドワークにおける調査トピックに関する発表とディスカッションを行った。夏の集中講義では、イギリスの社会と文化に関してイギリス人講師によるディスカッション形式のレクチャーを受けた。同時に各自が準備した調査内容やアンケートに関する質問をイギリス人講師に対して行い、フィードバックを得た。イギリス文化施設の訪問では、フィールドワークにおいて必要な要素を学ぶ機会とした。後期は、事後学習として調査トピックに関する追跡調査を文献やインターネットを通じて行い、各自の調査研究に関する発表をゼミ内で行ったり、報告書の編纂を行ったりした。

現地での実習ができなかったため、イギリスの文化や生活を体験することはできなかったものの、文献調査やイギリス人講師との直接のやり取りを通じて、海外文化研究の方法を学べたことは有意義なことであった。なお、夏季集中講義の費用などは、大学の補助金と後援会の助成金より援助を頂きました。感謝申し上げます。

加藤 千博

Contents

1. Summer Lesson	…1
2. Fieldwork Presentation	…5
3. British House in Yokohama	…18
4. Presentation about Beauty of Japan	…19
5. Online London Tour	…30
6. Preparatory Research	…31
7. Review	…41

Summer Lesson

I. Instructor: Luke Lawrence

① Language

イギリス英語とアメリカ英語の単語や言い回しの違いについて、またイギリス英語の中でも方言があることや、挨拶や声調の違いがあることを学んだ。イギリスには様々な国からの移民が多く住んでいるため、英語以外の標識が数多く置かれていることも学んだ。英語を話せない移民は現地の人々とのコミュニケーションが取れず孤立したり、移民の人々による独自のコミュニティが形成されたりする英語が話せない移民達によって引き起こされる問題があると多くの人々は感じているが、一方で多言語、多文化を持つ人々がいることは、英国を寛容で多様な社会にするのに役立つとも考えられている。

② Education

イギリスでは主に Primary School, Secondary School, 6th Form, University の4つに教育制度教育段階が分けられていること、授業でグループワークやディスカッションが取り入れられていること、ほとんどの学生がクラブ活動をしないうこと、塾がないことなどを例に日本の教育制度との違いを学んだ。また奨学金の制度が日本より充実しており、アルバイトをする学生も少ないようである。

③ Music

1970年後半のイギリスは、労働者階級の失業率や建物の価格が上昇し、ゴミが道路に散乱するなど多くの人にとって先行きが不安なものであった。セックス・ピストルズが“God Save the Queen”という楽曲で女王に対する怒りを表現したことを例に、不安感情や国に対する怒りが当時の音楽様式や人気に色濃く反映されていることを学んだ。

④ TV

1つの場所を中心として登場人物の日常が描かれるソープオペラがイギリスでの人気なテレビジャンルとして挙げられていた。ドラマ内では日常生活の他に、その時代に合った大きな社会問題に触れることもあり誤った認識を正すような役割も持っていた。またエンターテインメントのように見られがちであるが、イギリスに住んでいない人々にとってイギリスに住む一般的な人々の生活や文化を伝える働きも持っていることも学んだ。

⑤ Literature

上流階級にもお金の入手方法が異なることや階級が異なることによる結婚への弊害、階級への偏見などイギリスの昔の階級制度が J. オースティン(1775-1817)の『傲慢と偏見』(1813)を通して見ることができる。『傲慢と偏見』は、1800年代に社会階級がいかに重要であったかを示していた。また階級は財力だけで判断されるわけではなく、家名や伝統も判断材料になっていた。現代の人々が昔の階級制度を知るにはその当時に書かれた小説を読むことも一つの方法であることを学んだ。

⑥ Food

イギリスの食べ物は美味しくないと考えられているが、現在は様々な国からの移民の影響もあり、以前よりも食の種類が豊富になり、質も向上したようであった。またイギリスでは、ベジタリアン向けの食べ物がレストランをはじめ学校などの公共施設でも提供されていた。日本では伝統的なイギリス料理といえばフィッシュ&チップスのイメージであったが、イギリスではあまり食べられないようであった。このことに加えて飲食店で利用する英語について、よりフレンドリーな言い回しを学んだ。伝統的な英国料理を食べたい場合は、パブに行くのが最適なようであった。

⑦ Poverty

イギリスは2008年のリーマンショックで大打撃を受け、2010年の保守党による緊縮財政により公共サービスの大幅カットがされ、このことによりイギリスでは貧困が激増した。また、コロナウイルスの影響でフードバンクを利用する人の数も以前より倍増し、政府による意図的な印象操作もあることを知った。国自体は裕福に見えるが内部では相対的

な貧困が存在し、多くの人が貧困に苦しんでいることが分かった。また、削減された公共サービスの例として図書館の閉鎖があるが、このことは仕事を見つけるために、あるいは政府のお金を受け取るためにインターネットにアクセスするために図書館を訪れていた貧しい人々にとって大きな影響を与えた。彼らが仕事を得るのを難しくし、貧困のスパイラルにつながる。

⑧ Social Class

イギリスには上流階級、中産階級、労働者階級があり、仕事や趣味、服装だけでなく話し方や投票する政党、飲み物の好みにも階級が反映されていることを学んだ。またイギリスの社会階級について考えると同時に日本の社会階級についても討論し、日本にも目に見えない社会階級があることも再確認した。

II. Instructor: Hayley MacCallum

① Gender

イギリスでは互いのジェンダーを理解し合うために、まずは自分自身を大切にすることや他人を尊重することを学ための授業があることが分かった。イギリスは日本とは異なり、避妊や生理などについて、より実践的な内容が性教育で学ばれていることを学んだ。

② Healthcare

イギリスでは税金から無料の医療サービスである NHS (National Health Service) が提供されており、税率も年齢や国籍によって異なることを学んだ。またブレグジットの影響により英国人や EU 出身の看護師や医者割合が減り、EU 諸国の出身ではない移民の看護師の割合が増えていることも学んだ。生活環境や居住エリア、仕事の影響により、多くのマイノリティの人々がコロナウイルスに感染している問題があることも学んだ。

③ Edinburg

イギリス出身の MacCallum 先生お勧めの観光地であるスコットランドのエディンバラについて、中世の街並みが残っていることを中心に、芸術や国際的な祭りが毎年開かれていることを学んだ。

2.Field Work Presentation

I. 190291 山本さくら



1. サマープログラムを通して

2人の先生から教わったことを通して、言語や食についての授業からイギリスは移民の影響をよく受けているということ、階級によって同じ服のブランドでも好むデザインに差が出てくるということ、ジェンダーを理解し、お互いを尊重するために、小学生の段階では他人にまず敬意を持つようなカリキュラムが組まれていることなどを学んだ。



2. アンケート結果

イギリス出身である2人の先生のジェンダーに関する意識を知りたかったため、2人の先生にアンケートをした。

- ① 職場での差別経験：2人ともジェンダー差別を仕事場で受けたことは無いが、ルーク先生と一緒に働いている同僚の女性が差別されているのは見たことがあるという回答を頂いた。
- ② パートナーとの家事の比率：ルーク先生は半分半分であると自分は考えており、マカラン先生は、先生が仕事をし、パートナーが専業主夫であることからパートナーの比率の方が大きいとの回答。
- ③ 性別による利点・不利な点：ルーク先生は男性であることから不利な点は無ないように思い、マカラン先生は女性だからジュースは無料だったことがあるという利点、不利な点はキャットコーリングなど治安の悪い道で女性が歩いていると大声で冷やかしを受けることは怖く、女性ならではの経験であるとの回答。
- ④ 子供に求めていること：ルーク先生は子供がハーフであるという立場から、日本には見た目が外国人であるという、日本人と見た目が違う方が公務員という立場になることがあまり無いため、公務員になってほしいという回答。
- ⑤ アンケートの結果：ルーク先生の職場での差別経験は日本で起こったことなので考慮していないが家事の比率や職場での差別経験などにジェンダー差は無いように感じる。性別によって有利な点、不利な点は女性であるから奢ってもらえる、容姿を頻繁に冷やかされるなどは日本とそこまで変わらないように思われる。また、ジェンダーの面ではないが、移民が多いイギリスでは様々な国の人が様々な職業についていることがうかがえ、移民への意識が低い日本では職業が国籍や見た目と結びついているという違いがあるのではないかと考えた。

3-1. 調べること	イギリスのカリキュラム化された ジェンダープログラム →性教育を中心に ・誰が ・どのように ・教材 ・到達目標 ・時間 (・保護者からの評価や意見 ・先生の間での評価や意見)
小学校のホーム ページ (先生へのインタ ビュー)	
3-2. 調べる場所	・ロンドン 人口：755万人 (2021年 Worldmeter) ・スラウ 人口：12万人~14万人 (2011年 DB City.com) 各都市の小学校、街角インタビュー



3. フィールドワーク計画

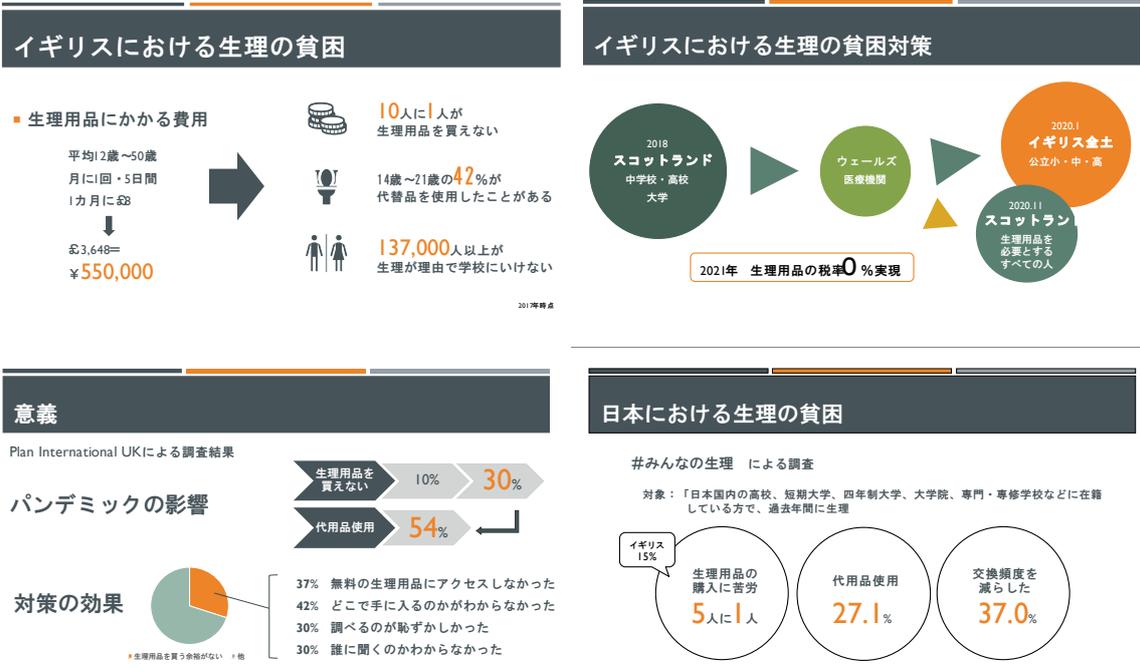
「小学生のジェンダーに関するアンコンシャスバイアスの形成」というテーマを設定し、イギリスの大都市と日本の大都市、自分の出身地と比べられるような地域の小学校で上記のようなアンケート調査を行いたいと考えた。

4. まとめ

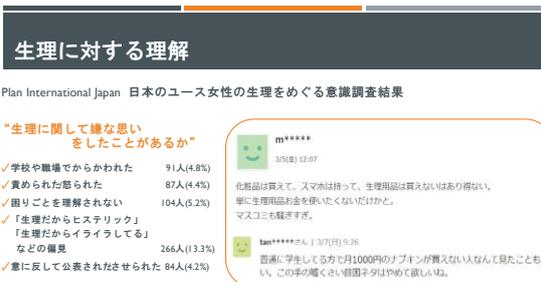
当初は「小学生のジェンダーに関するアンコンシャスバイアスの形成」について調べたいと考えていたが、調査方法や母数などを集めることなどを主な理由としてアンコンシャスバイアスを調査することは難しいことから、研究テーマをより現実的なものに変えたいと考えた。今回の海外文化実習の授業を通してまとめた自分の考えや、マカラン先生の教育に関するレクチャー、また磯貝さんの生理の貧困についての発表を聞きジェンダーに関する問題には、様々な人々が互いに尊敬しあうことやそのことに通じる性教育が不可欠であると考えられたため、これからはジェンダーに関する性教育に焦点を当てて考えていきたい。

II. 190029 磯貝日和

1. フィールドワーク計画



「イギリスにおける生理の貧困」の実態についてのフィールドワークを想定した。生理用品にかかる費用はその他の生活用品などに比べて優先順位が下になりやすく、生理の貧困が生まれる。イギリスでは10人に1人が生理用品を買えず、生理が原因で学校にいけない子どもも多数存在するのが現状である。イギリスは生理の貧困対策が進んでおり、公立学校での生理用品無償配布や税率0%が実現されているが、パンデミックの影響で学校が封鎖されるなどの事態となったため生理の貧困対策の効果が薄れている。



フィールドワークの事前調査として日本の生理の貧困について調べたところ、日本でも生理用品の購入に苦勞している人が5人に1人の割合でいることや、生理に対する偏見による学校や職場でのからかいなどの問題もあることがわかった。そこで、イギリスと日本における生理の貧困と生理に対する認識を比較すべく、2通りのアンケートを制作した。

2. アンケート調査



英語版

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdzzfKTA0DVNchmRK3gTBN0PnJLJFRUBNU-7AdWyhWXtfYqug/viewform?usp=sf_link

日本語版

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=Zm1jvv7LuEGJXO5cvYvHVahw5ppdx2lBvDwUsa0vhZ9UQjRLNzRJuJhJOE1ORlFKVVJPRlFPVTE4Ty4u>

アンケート調査の内容は、年齢・生理の有無・生理用品や生理に関する知識・生理用品の購入や交換における金銭的な問題などの質問を設定し、日本語版では7件、英語版では14件の回答を頂いた。英語版で興味深かったことは、生理に関する懸念(出費、生理痛、周囲の反応等)の質問において、生理用品が環境に与える影響という回答が最も多かったことである。ただし日本語版はアンケートの試作段階で回答を集めたため英語版と質問が多少異なり、懸念に関する質問の回答は得られなかった。生理の貧困を調査するにつれ、生理に対する認識や意識に差があると感じたため、今後は学校や家庭における生理や性に関する教育にも目を向けたいと思った。

Ⅲ. 190249 正山阿智



INTARVIEW

1. Have you ever eaten Washoku?
- Of cause , yes. Sea-food.
2. Do you like Washoku?
- Same of it, health one. Consider balance and health.
3. What is your favorite Washoku?
- Tonkatsu.
4. Do you think people in the UK know Washoku?
- Everyone knows. Miso-soup, sushi, but does not "washoku" .
5. In the UK, is there any place that people can eat Washoku?
- Japanese restaurant. They are in the big city. But we can eat curry everywhere.

6. What Washoku can we eat in the UK?
- onigiri, sushi, miso... We can get them in supermarket.
7. What Washoku is popular in the UK?
- sushi
8. Do you think people can make Washoku in UK?
- recently not. There is no ingredients in the UK.
9. Have you ever cooked Washoku? And, what dish have you cooked?
- Yes. Miso-soup, grilled fish, yakisoba.
10. Have you ever heard about "Umami" ?
- yes, recently. In the UK, people know that.

1. Summer school

We took Mr. Lawrence and Ms. MacCallum classes in the summer school. We learned about language, education, music, TV, literature, poverty, social class, gender, healthcare. Teachers tell us the reality of the UK from various aspect. All classes are very interesting for me. Comparing between Japan and the UK, I think they are very different especially social class and gender.

2. Interview

I am interested in food. Through all classes in the first half term, I researched about food in the UK. At the summer class, I interviewed Mr. Lawrence about food in the UK. The contents are as follows.

- ① Have you ever eaten Washoku?
- Of cause, yes. Sea-food.
- ② Do you like Washoku?

- Same of it, health one. Consider balance and health.
- ③ What is your favorite Washoku?
 - Tonkatsu.
 - ④ Do you think people in the UK know Washoku?
 - Everyone knows. Miso-soup, sushi, but does not “washoku”.
 - ⑤ In the UK, is there any place that people can eat Washoku?
 - Japanese restaurant. They are in the big city. But we can eat curry everywhere.
 - ⑥ What Washoku can we eat in the UK?
 - onigiri, sushi, miso... We can get them in supermarket.
 - ⑦ What Washoku is popular in the UK?
 - sushi
 - ⑧ Do you think people can make Washoku in UK?
 - recently not. There is no ingredients in the UK.
 - ⑨ Have you ever cooked Washoku? And, what dish have you cooked?
 - Yes. Miso-soup, grilled fish, yakisoba.
 - ⑩ Have you ever heard about “Umami”?
 - yes, recently. In the UK, people know that.

<p>FIELDWORK</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Place : London ➤ Interview ➤ Gender, Age, Country ; free 		<p>QUESTIONS</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Age (10-20, 21-30, 31-40, 41-50, 51 and up) 2. Have you ever heard about “washoku” ? (Explain that washoku is Japanese cuisine) 3. Have you ever eaten washoku? 4. Do you like washoku? 5. What dishes are popular in London? 6. Can you cook any dish of washoku? 7. What image do you have about washoku? 8. Have you ever heard about “umami” ? 9. Have you ever tasted umami? 10. Have you ever heard about “dashi” ?
--	---	---

3. Fieldwork

On the fieldwork, I'm going to implement in London, because there are various people who has various culture, and there are more Japanese restaurants in big city than small city. The format of research is interview. I want to ask some questions regardless gender, age and country. The items of the questions are as follows.

1. Age (10-20, 21-30, 31-40, 41-50, 51 and up)
2. Have you ever heard about "washoku"?
(Explain that washoku is Japanese cuisine)
3. Have you ever eaten washoku?
4. Do you like washoku?
5. What dishes are popular in London?
6. Can you cook any dish of washoku?
7. What image do you have about washoku?
8. Have you ever heard about "umami"?
9. Have you ever tasted "umami"?
10. Have you ever heard about "dashi"?

5. Review

Through the interview of Mr. Lawrence, I think Washoku is popular in the UK, but people do not know the word "washoku". People in the UK can eat Washoku at restaurant and buy it supermarket. I am happy to know that people in the UK enjoy Washoku.

IV. 200198 永田優衣

レミゼラブル

原作：ヴィクトル・ユゴーの小説『レミゼラブル』

1980年 パリで初演

1985年 ロンドンで上演

1987年 日本で上演

小説のレミゼラブルは、フランス人のヴィクトル・ユゴーが著者である。その後、1980年にパリで初めてミュージカル化され、1985年にはイギリスのロンドンでも上演され大ヒットとなった。1987年には、日本でも上演された。

研究テーマ

レミゼラブルがなぜイギリスでここまで人気になったのか？

- ・原作(orフランス版ミュージカル)とイギリス版ミュージカルの違い
- ・イギリス人の「ミュージカル レミゼラブル」に対する評価
- ・(日本版ミュージカルとイギリス版ミュージカルの違い)

研究テーマは、「レミゼラブル(ミュージカル)がなぜイギリスでここまで人気になったのか」である。このテーマを設定した理由は、パリの作品である「レミゼラブル」が1985年のロンドンでの公演をきっかけに世界的に大ヒットした理由が気になったからである。

この研究をするために、①原作とイギリス版ミュージカルの違い、②イギリス人の「ミュージカル・レミゼラブル」に対する評価を検討したい。ミュージカル・レミゼラブルに関する論文では、小説から、あるいはフランス版ミュージカルとイギリス版ミュージカルには違いがあることが示されており、その違いがミュージカルの大ヒットに繋がったのではないかと考えた。また、そのイギリス版ミュージカルをイギリス人がどのように評価しているかを知る事で、レミゼラブルのどのような点が感動するか、フランス版との違いがイギリス人に対してどのような影響を及ぼしているのかを検討したい。

事前調査

- ・レミゼラブルの原作(日本語)を読む
- ・日本のレミゼラブルを観劇する
→構成、観客の反応、アンケート

調査方法

- ・イギリスの本屋や図書館で文献・論文を探す
(Westminster Reference Library・大英図書館)
- ・ソンドハイムシアターでレミゼラブルを観劇する
(舞台構成、原作との違い、観客の反応)
- ・レミゼラブルを観劇したイギリス人にインタビュー、アンケート

事前調査としては、イギリス版ミュージカルと比較するために、レミゼラブルの原作を読むことである。また、イギリスとは別の国である日本版ミュージカルを観劇することで、よりイギリス版の特徴が見えると考えたため、日本版も観劇したい。

イギリス現地での調査は、イギリスの本屋や図書館でレミゼラブルに関する文献や論文を探す。イギリス版ミュージカルの発祥である現地で、文献を探したら、より詳しい情報を知ることが出来ると考えた。そして、実際に舞台を観劇し、舞台校正、原作との違いを観察する。その後、舞台を観劇したイギリス人にインタビューを行う。質問項目は以下の通りである。

質問項目

- ・性別
- ・年齢
- ・観劇の有無
- ・観劇理由
- ・舞台の感想
- ・演者についてどう思いましたか？
- ・どの場面が印象に残りましたか？
- ・歌についてどのように思いましたか？
- ・物語についてどのように思いましたか？
- ・オーケストラについてどう思いましたか？

観劇無しの場合→レミゼの印象、イギリス文化として認識しているか？

Lawrence先生：観劇したことはない
MacCallum先生：観劇したことはない

今回は、イギリス人である2人の方に回答を得ることが出来た。2人とも舞台を観劇したことはなく、映画は観たと答えた。レミゼの印象と、レミゼをイギリスの文化として認識しているかについて聞いた。まずレミゼの印象は、(実際に観劇したことはないが、)演者の歌のレベルがとても高く作品全体のクオリティが高いイメージがあると言っていた。そして、レミゼをイギリスの文化として認識しているかについては、レミゼはフランスの小説が原作であるため、イギリスの文化ではなく、フランスの文化であると認識していると言っていた。

今回は、実際に現地に行き、観劇後のイギリス人にインタビューすることができなかったため、観劇したことのある人の回答が得られなかった。

2人のインタビューでは、どちらも観劇したことがないというところから、イギリス人全員がミュージカル版レミゼラブルに馴染みがあるわけではないと感じた。一方で映画は観たことがあると言っていた。これは一般的に、映画はミュージカルよりも、DVDで気軽に視聴できることや、上演時間が比較的短い、値段が安い、チケットがとりやすいなど、誰でも気軽に楽しめる要素があるためではないかと考える。

V.190151 鈴木日菜

1. フィールドワーク計画

「シェイクスピアの故郷での彼の評価」

「イギリス人の生活とシェイクスピアの関わり」

日本でシェイクスピア作品と関わることができる機会は多くない。私自身、習い事の英語劇の際に初めて知った。耳にすることは多くあるが、実際に読んだり演じたりする機会は少ない。対してイギリスでは知らない人はいない。また、学校や様々な場面を通じて触れる機会がある。日本とイギリスでのシェイクスピアに対する意識の違いについて、アンケートを基にした調査を検討した。

2. アンケート調査

日本人とサマープログラムの二人の先生へのアンケート調査を比較する。

<p>Answer 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ⑨ Please explain why you answered the previous question in that way. [All of us face this situation. Language is beautiful and poetic.] ○ ⑩ Please explain your image of William Shakespeare or his works. [Genius, Innovator] ○ ⑪ Please explain why you answered the previous question in that way. [Invented so many words of English language that exists.] ○ ⑫ Please explain what are involved in your life with William Shakespeare or his works. [Happy memory of reading Shakespeare, going school trip and watching play in London.] 	<p>Answer 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ⑥ What are your favorite works of Shakespeare? [Hamlet] ○ ⑦ Please explain why you answered the previous question in that way. [It is dark. Express the human condition and political complex.] ○ ⑧ What are your favorite lines of Shakespeare? ○ Whether not fortune ○ Or take again to die sleep ○ Should I fight or should I sleep ○ Whether 'tis nobler in the mind to suffer ○ The slings and arrows of outrageous fortune, ○ Or to take arms against a sea of troubles, ○ And by opposing end them?
<p>アンケート結果①</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ⑤ どこで(もしくは何で) 【大学】 【文学を取り扱う講義】 ○ ⑥ 好きなシェイクスピア作品 【ロミオとジュリエット】 (2) 【読んでことがない】 ○ ⑦ 理由 【虫塚で預けられていて、とても面白かったから。 【読もうだから。あと読む機会がなかったから。】 ○ ⑧ シェイクスピア作品の中で好きなセリフをあげてください (3) ○ ⑨ ウィリアム・シェイクスピア及びシェイクスピア作品へのイメージを教えてください 【悲劇のイメージが強い。情熱的 【悲劇が多い】 【読もう】 	<p>アンケート結果②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年齢 【大学生】 【情報通信・医専】 【高校生】 【中学生】 ○ ⑤ どこで(もしくは何で) 【本、マスメディア】 【作品を読んだことがある 【姉からのすすめ】 【記憶にない】 ○ ⑥ 好きなシェイクスピア作品 【ロミオとジュリエット】 (2) 【リア王】 (2) 【ハムレット】 ○ ⑦ 理由 【心に残るシーンがいくつかあるから】 【悲劇だから】 (2) ○ ⑧ 好きなセリフ 【ああロミオ、あなたはなぜロミオなの【ない】 【犬でも職権があれば、人間を従わせることができる 【人生は歩く影にすぎない】 ○ ⑨ 理由 【確かに結局は権威なのかなと思うところがあったから 【心にスッと入ってきたから】
<p>アンケート結果②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ウィリアム・シェイクスピア及びシェイクスピア作品へのイメージ 【人の人生を大きく変えてしまうような影響力を持っているイメージ 【現代英語の成立に大きな影響を与えたと思【四大悲劇の印象が強い】 【悲劇】 ○ ⑩ 理由 【考え方を変えるきっかけとなる言葉が多いから 【マクベスに出てくるbody Macbethという単語はshe is more ambitious than Lady Macbethなどと使われるから 【ロミオとジュリエットのイメージが強いから】 	<p>アンケート結果③</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年齢 【高校生】 性別 【男性】 ○ ⑤ どこで(もしくは何で) 【習い事】 ○ ⑥ 好きなシェイクスピア作品 【夏の夜の夢】 ○ ⑦ 理由 【狂の書簡宛】 ○ ⑧ シェイクスピア作品の中で好きなセリフ 【特になし】 ○ ⑨ ⑧の理由をお答えください【自由記述】 ○ ⑩ ウィリアム・シェイクスピア及びシェイクスピア作品へのイメージ【悲劇が多い】 ○ ⑪ 理由 【今までやった作品の影響】

「好きな作品」

- 日本人からの回答は「特になし」が半分以上
- 先生方からの回答は有名どころではない、あまり日本では馴染みのないところ
→シェイクスピア作品が身近であるからか？

「シェイクスピアや作品へのイメージ」

- 日本人からの回答は「悲劇」「恋愛」が多い
- 先生方からの回答は「英語への影響」に関して
→マカラン先生からは「national icon」という言葉も

回答母数が少ないため、深く比較、考察することは難しいが、これらのことから、日本とイギリスではシェイクスピアと作品に対する認識が違うことが分かる。

3. まとめ

イギリスでのシェイクスピアの位置付けは日本でいう「古典」に近いのではないかと感じた。イギリスではシェイクスピア作品を読み演じる機会が多いが、日本の古典にはほとんどない。日本の古典が小説や随筆が主で演じることに向いていない、また歌舞伎などは男性のみが演じるものという伝統があるため、その時点で大きな違いはある。しかし、作品への関わり方、学び方は決まった型があるものではないと感じる。日本の教育とイギリスの教育の比較がこの調査の疑問を紐解くヒントになるのではないかと考える。

2. British House in Yokohama



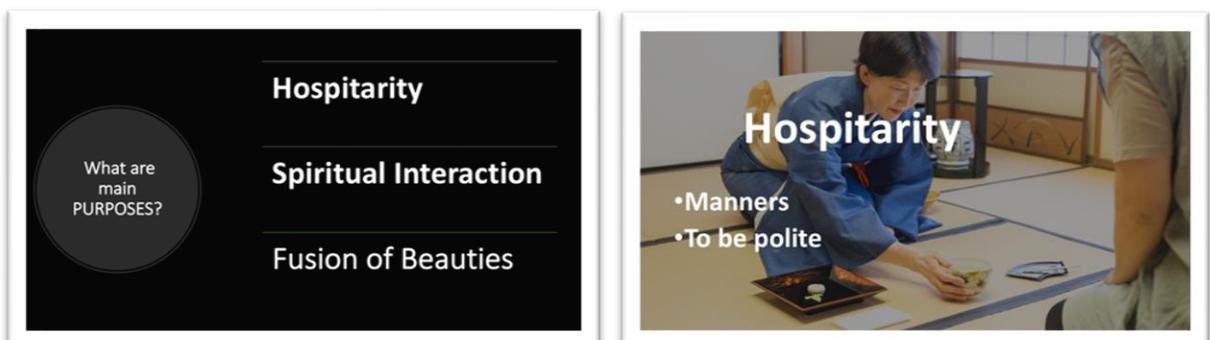
7月29日に横浜市イギリス館へフィールドワークとして訪問した。展示されていた家具が日本のものと比べて大きかったことや、ルーク先生の授業で学んだ、トイレをラバトリーと呼ぶこと、使用人の部屋と主屋には差があったことなどを始め自分たちの目で確かめることができた。また庭園にはバラが咲いており、薔薇の名前にはロイヤルファミリーの名前が付けられていたものが多く存在したことに気がつくことができた。また、事前学習で調べていた王冠入りの銘板を目にすることができ、イギリス領事公邸としての歴史を感じられた。

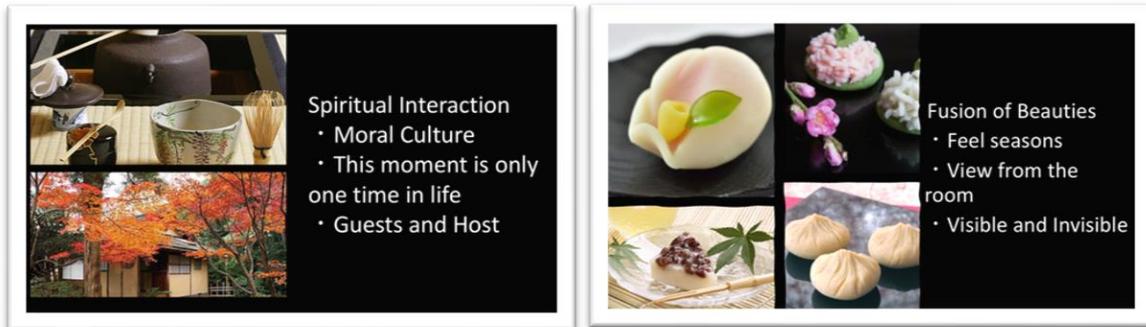
4. Presentations about Beauty of Japan

I. 190291 山本さくら



These days, there are a lot of matcha foods and it is also spreading all over the world. Therefore, I want to introduce the roots of this, we call Chado or Sado. Chado is called tea ceremony in English. Chado's unique atmosphere is described by the words wabi (hardness which we can't do it at my pleasure) sabi (decline of vitality) and these words sometimes come out when we talk about the Japanese traditional cultures. Trying to feel the satisfaction in poor and lonely situation is really unique but it is one of the Japanese sense of beauty. There are over 500 traditions and each traditions have each styles.





There are main three ideas of Chado's purposes, hospitality, spiritual interaction and fusion of beauties. One of the significance of Chado is that we can enjoy the taste of matcha and confectionary. In addition to these aspects, we can learn manners which we should be polite and kind to other people and we can be calm and also we can enjoy and feel Japanese seasons and nature from tools and confectionary. Therefore, when we attend tea ceremony we can feel Japanese both spiritual and visible culture at one time.

II. 190029 磯貝日和

THE BEAUTY OF JAPAN

THE SEASONS & CITYSCAPE IN KYOTO

HIYORI ISOGAI



THE FOUR SEASONS IN JAPAN

Spring	Summer	Autumn	Winter
Mar - May	Jun - Aug	Sept - Nov	Dec - Feb
			
<ul style="list-style-type: none"> Cherry blossom Entrance/ Graduation ceremony 	<ul style="list-style-type: none"> Fireworks Yukata 	<ul style="list-style-type: none"> Autumn leaves Moon viewing 	<ul style="list-style-type: none"> Christmas New Year

OUTLINE



KYOTO PREFECTURE

-  Former capital (794~)
-  Historical buildings
-  8,000,000 visitors
-  Cuisine with seasonal ingredients



I made a presentation about four seasons and cityscape in Kyoto. The four seasons themselves are not so unique, but each of them has its own specific customs and different images in Japan.

Kyoto is a historical city located in the west area of Japan and was the capital from 794 to around 1870. So, there are a lot of temples and shrines, and around eighty million people visit Kyoto a year. In addition to the historical buildings, it is also famous for the cuisine with a variety of seasonal ingredients.

GION SHIRAKAWA ~SPRING~



"An Important Preservation District for Group of Historic Buildings"

You can enjoy...

-  Cherry blossom
-  Kimono

Full Bloom : Late March ~ Early April

PONTO-CHO STREET ~SUMMER~



Kamogawa Noryo-Yuka
= riverbed

- A lot of eating establishments
- Since the 17th century

Kamogawa River

May ~ Sept.

SPRING: Gion shirakawa is designated as an Important Preservation District for

Group of Historic Buildings. And In spring, cherry blossoms bloom in this historical district and, many people visit to see the beautiful combination.

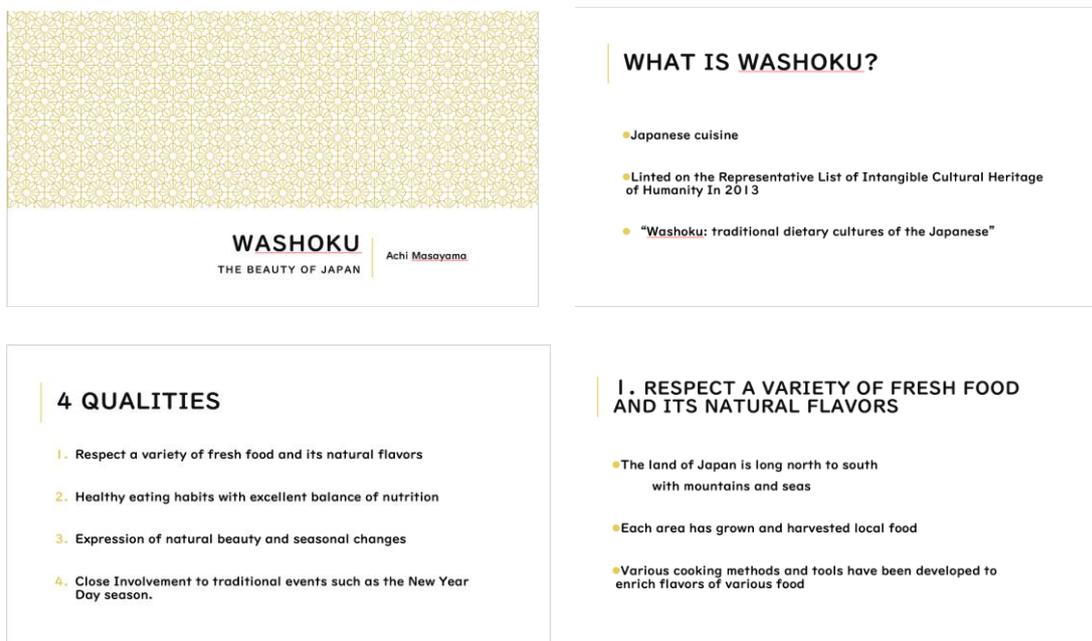
SUMMER: Pont-Cho is known as an entertainment district with more than 300-year old history and there are many eating establishments. This area is located near the Kamogawa-River, and you can enjoy eating and drinking on the riverbet called “Kamogawa Noryo Yuka” when summer comes.



AUTUMN: Arashiyama has a beautiful mountain, river, and a famous bridge called “Togetsu-Kyo”. When it gets to autumn, the mountain changes colors to red and yellow, and many people visit to see autumn leaves every year. Also, the beautiful combination of the tram around the area and autumn leaves is one of the reasons why Arashiyama is so popular especially in autumn.

WINTER: Kihune shrine is in the deep forest and enshurines water gods. It's a really old structure and the beginning is unknown, but it was founded at least 1,300 years ago. Kihune shrine is beautiful whenever you visit, but I suppose winter is the best season to visit.

Ⅲ. 190249 正山阿智



I will talk about washoku-Japanese cuisine. Washoku has its origin in Japan. In 2013, washoku is approved as UNESCO Intangible Cultural Heritage. Japanese government applied for registration of “Washoku: traditional dietary cultures of the Japanese”.

Washoku, registered as UNESCO Intangible Cultural Heritage, does not refer to specific dishes like “Sushi” and “Tempura”. The definitions of Washoku, which Japanese government applied for its registration as UNESCO, set four main qualities.

1. Respect a variety of fresh food and its natural flavors
2. Healthy eating habits with excellent balance of nutrition
3. Expression of natural beauty and seasonal changes
4. Close Involvement to traditional events such as the New Year Day season.

2. HEALTHY EATING HABITS WITH EXCELLENT BALANCE OF NUTRITION

- Washoku enhances “Umami (taste)” of ingredients to help healthy eating habits with excellent balance of nutrition
- “Ichi-ju San-sai”
rice, soup, and three side dishes
- great balance of nutrition and assists healthy eating habits
- to emphasize “Umami (taste)” of food make dishes low in fat
→ maintain health, long life, and prevent obesity

3. EXPRESSION OF NATURAL BEAUTY AND SEASONAL CHANGES

- Washoku expresses changes of beautiful seasonal nature on serving a dish
- Washoku can be enjoyed not only by “taste” , but also by “presentation”



4. CLOSE INVOLVEMENT TO TRADITIONAL EVENTS LIKE THE NEW YEAR DAY SEASON

- Washoku has developed along with families and local people on the involvement with seasonal events
- the New Year Day season, Setsubun, Sekku (seasonal festival), Ohigan (equinoctial week), New Year Day Eve

WHAT I WANT TO TELL

- ▶ Washoku is important “culture” of Japan
- “the harmony of food” respect for nature, celebrate the traditional events
- ▶ I want more people to notice the charm of Washoku



I introduce each quality of washoku. The first quality of Washoku is appreciating various ingredients from local areas in Japan and those flavors. The land of Japan is long north to south, from Hokkaido to Okinawa, with mountains and seas. each area has grown and harvested local food.

Secondly, Washoku has preserved the basic rule of “Ichi-ju San-sai”. “Ichi-ju San-sai” means the meal with rice, soup, and three side dishes like boiled, grilled ones. Thus, Japanese traditional dietary culture centered on Washoku has great balance of nutrition and assists healthy eating habits.

Thirdly, Washoku expresses changes of beautiful seasonal nature on serving a dish. Using vessels and implements, which goes well with each season, amuses you visually on eating. This is essential side of Washoku. Washoku beautifully served on seasonal vessels can be enjoyed not only by “taste”, but also by “presentation”.

At the fourth, Washoku has developed along with families and local people on the involvement with seasonal events. dishes cooked with blessings of nature have been appreciated and shared with local people, which has also built the strong bond with people living there. On each seasonal event, appropriate Washoku is served to appreciate

the blessings of nature by sharing “food” together with local people and families to deepen the bond.

I think washoku is important culture of Japan. Washoku literally means the harmony of food. Washoku is used local and seasonal ingredients, it expresses the respect for nature. In addition, Japanese people deepen their bond with local people and families by sharing washoku together. I think washoku is not just food, but also culture. I want more people to notice the charm of washoku.

IV. 200198 永田優衣



What is Japanese cherry Blossom?

- *SAKURA* in Japanese
- Blossom in March or April (in spring)
- Symbol of spring
- There are many kinds of cherry blossoms



I introduce Japanese Cherry blossom as beauty of Japan. Cherry blossom is called Sakura in Japanese and blooms mainly in March or April.

Sakura is often used as a symbol of spring in Japan. For example, at the graduation ceremony held in March and the entrance ceremony held in April, the cherry blossoms are in bloom, so the pictures and illustrations of the graduation ceremony and the entrance ceremony often show cherry blossoms. That's how much, Sakura makes the Japanese feel the arrival of spring.

It is said that there are more than 600 types of cherry blossoms in Japan, although it cannot be counted accurately due to differences in classification methods.

Cherry Blossoms are loved by Japanese

- Japanese go to see cherry blossoms in spring.
- Japanese enjoy to eat and talk with their friends while seeing cherry blossoms. → "OHANAMI"



Speaking of traditional Japanese culture associated with cherry blossoms, it is OHANAMI. OHANAMI is to appreciate cherry blossoms while eating and talking with friends and family. This is a culture unique to Japan that loves cherry blossoms and is an annual event.

Cherry blossoms have been loved by Japanese people for a long time.

- 「世中にたえて桜のなかりせば春のころはのどけからまし」
(Ariwaranonarihira, in 825-880)
- If there were no cherry blossoms in the world, I could have calmer spring days.
(<https://beyondtranslation.hatenablog.com/entry/2018/03/30/223819>)
- 「久かたのひかりのどけき春の日にしづ心なく花のちるらむ」
(Kino Tomonori, in 850-904)
- Cherry Blossoms, on this calm, lambent day of spring, why do you(cherry blossoms) scatter with such unquiet hearts?
(<https://gurassansou.jp.net/columns/saijiki/2020/02/22/9897/>)

Sakura has been loved for a long time. Sakura also appears in Japanese poems that were read in the 9th century.



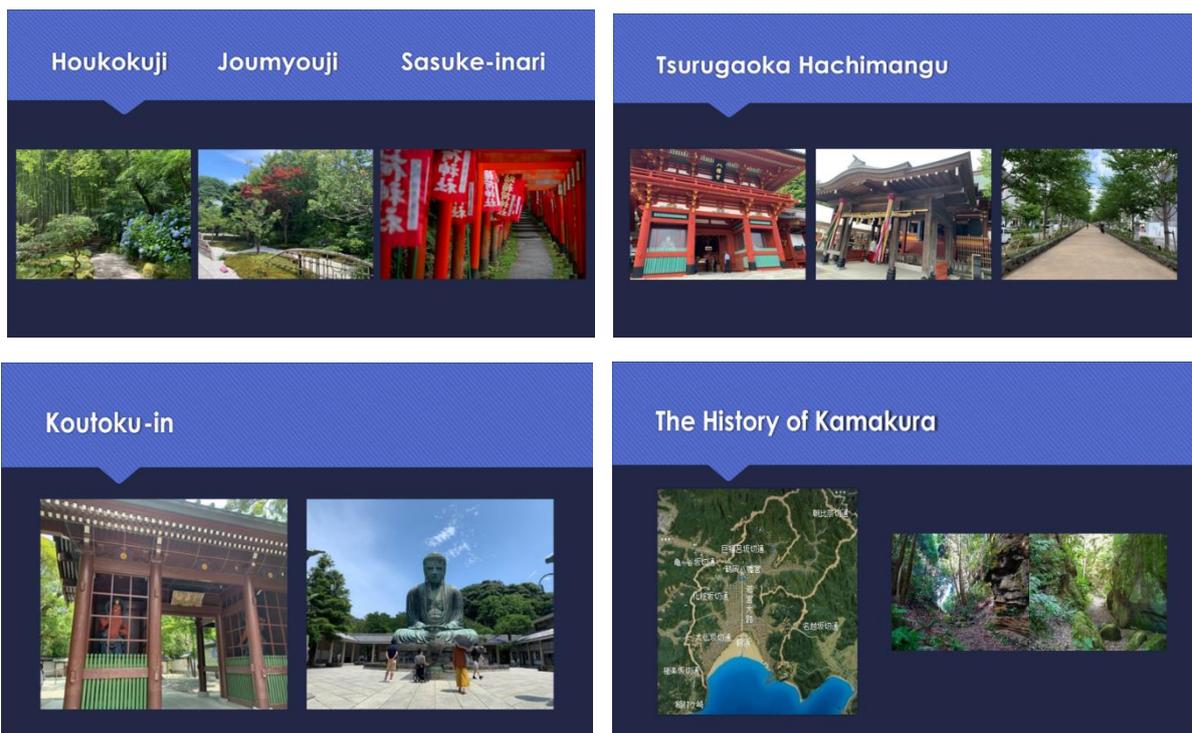
There are many great places to see Sakura in Japan. Among them, this time I will introduce *Hirosaki Park*. It is In *Hirosaki, Aomori*. There, we can see many kinds of beautiful cherry blossoms. About 50 species, 2,600 cherry blossoms bloom in spring such as *Ooshidare*, *someiyoshino*, *otakizakura*, *Hirosaki shidare*, and so on.

Furthermore, various events are held according to the season, such as the Spring Cherry Blossom Festival and the Autumn Foliage Festival.

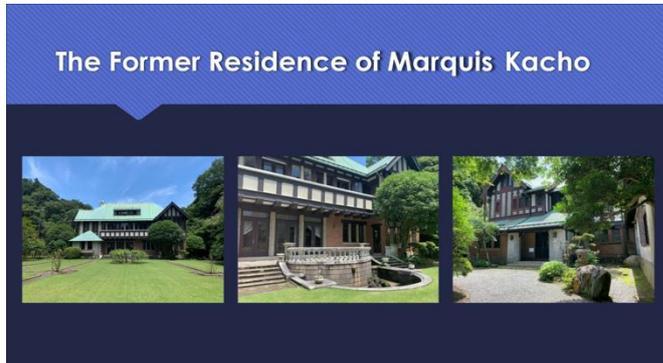
V.190151 鈴木日菜

I made a presentation about Kamakura. There are some historical or cultural places in Kamakura. I believe Kamakura is an important city to know about Japanese history and culture.

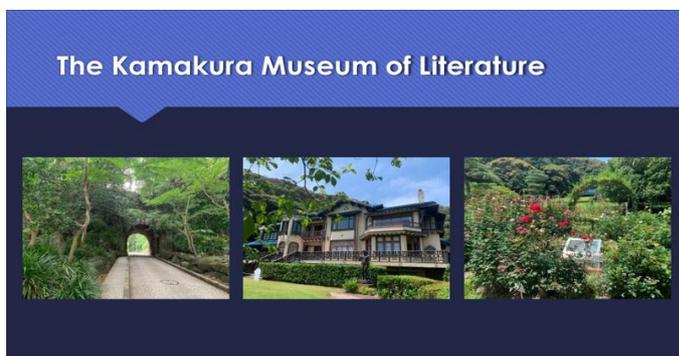
Kamakura era is the latter 12 century, and in Europe, it was the period of the Renaissance. Minamoto no Yoritomo the First general of Kamakura era lived in Kamakura city because Kamakura is useful for defense because of its geographical condition. The system of Samurai society and culture which is based on Kamakura Buddhism were spread from Kamakura affected the sense of value and behavior pattern of Japanese.



Tsurugaoka Hachimangu which is built by Yoritomo is the most famous and important shrine of Kamakura. Kotoku-in temple is famous for “Daibutsu” the Great Buddha of Kamakura. In addition to these, there are many great temples and shrines.



In Kamakura era, there are two kinds of religions. There are many temples and shrines close to each other although they belong to different religion but they didn't become war. As a reason for that Shintonism accepted all of gods. It believes all the deities and thinks that a god exists for everything



You can also enjoy some buildings built in Meiji to Showa. For example, the Former Residence of Marquis Kacho built in 1929 and The Kamakura Museum of Literature opened in 1985. Both of these have beautiful garden.

In conclusion, I would like to tell you there are a lot of attractions in Kamakura and visiting Kamakura is meaningful to know about Japanese history and culture.

6. Online London Tour

8月5日にオンラインロンドンツアーに参加した。ガイドの方が街を散策し施設を説明してくれた。歴史的な建造物と、現代的な建造物が混在している様子がうかがえた。また、街中に電柱が見当たらず、地中に埋められていることを知った。それにより、美しい景観が保たれていると感じた。コロナ禍であり、この時期には日本では外出しているほとんどの人がマスクをしているのに対しイギリスでは街に多くの人がいるにも関わらずマスクをほとんどの人が付けていなかったことから認識の違いを感じた。



7. Preparatory Research

I. 190291 山本さくら

1. イギリス王室のファッションについて エリザベス女王のファッション



エリザベス女王は鮮やかで目立つ色の服を着用することが多い。これは女王を目立たせて、集まった人が遠くからも女王のことを見えたと思ってもらえるような役割がある。また女王が公務に出席する際には帽子を着用していることが多い。これは 1950 年頃まで女性は髪の毛は公の場で見せるべきではないと言う考えから帽子なしで外出することがほとんどなく、このことが時代とともに変わり公式な場所では帽子を着用するという習慣に変化したからのようである。また、エリザベス女王は 50 年間ロウナーロンドンのハンドバックを持ち歩いている話も有名のようだ。

2. イギリス王室のファッションについて キャサリン妃のファッション



キャサリン妃はファッションにおいて美しく見えることと英国のファッションを支持するという 2 つを実践しているようだ。全身で 3 色までしか色を使用しないことや着回し方などのファッションセンスには定評がある。キャサリン妃のファッションの影響力は凄まじく、英国のファッション業界の売り上げをおよそ 10 億ポンド (1500 億円以上) も押し上

げているようだ。お気に入りのブランドはアレキサンダーマックイーン、マルベリー、アーデム、エミリアウィックステッドのようだが、ZARA やトップショップなどのファストファッションアイテムも着用している。キャサリン妃が着用した服は数時間で完売したり、ウェブサイトが一時停止してしまうこともあるようだ。キャサリン妃はネットショップのセールを利用していると言う親近感を湧くエピソードもあった。

3.まとめ

ファッションは見た目を美しく着飾るだけでなく、キャサリン妃の人気の理由のひとつともなっていた。着飾らないが自分を見せるファッションをしているキャサリン妃の着用していた服がすぐに売れるなどキャサリン妃はファッションアイコンとしてもイギリス国民から支持があることがわかった。

II. 190029 磯貝日和

1. British humour

イギリス国民といえば、理解しにくい皮肉のきいたブラックなジョークを真顔でとばす人々を思い浮かべる人も多いのではないだろうか。実際、イギリス人が好む「笑い」の対象は日常で起こるすべてのことであり、ここでは権威・階級・宗教・政治・移民・戦争・死など、他国では到底ジョークの題材として扱われないものまで笑いに変えられてしまう。その他にもイギリス人が好む「笑い」の特徴として、時と場所を選ばない、機知にとんだシュールなもの、高学歴なコメディアンたち、といったことが挙げられる。



2. 「笑い」の種類

・皮肉 - Irony、嫌味 - Sarcasm

皮肉のきいたジョークは多くの場合無表情で発せられ (Deadpan humour)、自虐的な内容や誇張表現、反対に控えめな表現をするという手段が取られることが多い。自虐は特に他国とは異なる部分と言え、例えばアメリカが自国を褒めることで笑うのに対し、イギリスでは曇天やまずい料理を自虐するというパターンが良くみられる。

皮肉と似た表現に、嫌味というものがある。こちらはより嫌味が込められた皮肉であり、嘲笑に近い。ここで明記しておきたいのは、ユーモアとはそもそも愛情が込められて初めて成り立つということである。ユーモアとは、アイロニーを感じ取る力、ばからしさを感じ取る力、ある程度の現実との接触、愛情によって成るものであり、皮肉や嫌味が個人や対象の攻撃として用いられてはならない。

・風刺 - Satire



イギリスの人々は、政治家や王室といった権威のある人や組織を揶揄し、高慢な鼻をへし折ることを好む。特に彼らお気に入りの有名なジョークはEU離脱に関するもので、EU離脱の酷い有様と自動車事故を起こしたことがあるフィリップ殿下の下手くそな運転を皮肉ったジョークである。



“What’s driving Brexit? From here it looks like it’s probably the Duke of Edinburgh.”

・言葉遊び - Puns、 Play on words

また、単語で韻を踏んだ言葉遊びや駄洒落もジョークとして存在する。イギリス映画の代表ともいえるハリー・ポッターシリーズで、ウィーズリー家の悪戯好きの双子がジョークを飛ばすシーンが印象に残っている人も多いのではないだろうか。双子の 1 人、ジョージが戦闘で耳を無くし、穴が開いてしまった際のやりとりは、まさに言葉遊びである。

聖人みたいだ。
見ろよ...穴だ(*holey*)。ホールだ。
ホーリー(*holly*)だ。



1. まとめ

イギリス人のユーモアやジョークが理解されない理由は、一般的な事柄から死や宗教など笑にくいものまでもがネタにされ、皮肉や自虐がこもったジョークが多くの場合真顔で発せられる事だろう。また、イギリス国内外の情勢や政治、文化的背景知識がないと楽しめないものも多い。よって文化や歴史を知ればユーモアを理解でき、ユーモアが解ればイギリスの内面もより理解できるようになるのではないだろうか。

Ⅲ. 190249 正山阿智

私は食文化について非常に関心があるので、ここではイギリスの食文化についてこれまで調査してきたことをまとめていきたい。はじめに、イギリスの伝統料理についてまとめていきたい。

イギリス料理と言ってまず思い浮かぶのはフィッシュ&チップスだろう。フィッシュは主にタラ(Cod)などの白身魚を使っており、衣をつけて揚げたものである。ポリュームで、手軽に安く食べることができるため、イギリス人にも人気の高い食べ物だ。



フィッシュ&チップス

次はシェパーズパイ。羊飼いを意味し、味付けした羊のひき肉の上にマッシュポテトをしきつめてオーブンで焼いたものである。「パイ」はイギリスを代表する伝統料理で、イギリスでは、パイの皮を使っていなくとも、何かで蓋をしてローストしたり蒸したりしたものを「パイ」と呼ぶよさうだ。



シェパーズパイ

さて、イギリスの食の特徴とは何か。イギリスは海に囲まれているため、新鮮な魚介類が多く手に入る。また、国の約半分が牧場や牧草地のため、肉類や乳製品なども豊富だ。植民地の影響で、街中にはインド料理と中華料理のレストランが数多くあり、イギリス人にとって身近な料理である。中でもカレーはイギリスの国民食ともいわれるほど人気があるようだ。また、肉料理や魚料理の付け合わせには頻繁にじゃがいもが使用される。ジャケットポテトのようにメイン料理になることもある。パンもよく食べられるが、メインの合間につまむという食べ方であるため、日本でいう主食とは異なり、イギリスには主食という概念がないようだ。

ところで、イギリスというと紅茶も外せない。お茶の原産は中国だが、紅茶という発酵したお茶で有名なのがイギリスである。イギリスにお茶がもたらされたのは 17 世紀前半で、ヨーロッパの中では決して早い方ではない。緑茶を中心とした中国茶をオランダから輸入し、17 世紀後半にイギリス王室にもお茶が登場し、王女キャサリンによって、イギリス上流階級の間にお茶の文化が広まった。国内での茶の普及と呼応するように、イギリスは英蘭戦争でオランダに勝つと、オランダから茶の輸入権を奪い取り、1689 年には中国からの直接輸入を開始する。そして、19 世紀前半には、当時植民地だったインドのアッサム地方で野生の茶樹が自生しているのを発見され、これにより、イギリスは自分たちの手で紅茶を大量生産できるようになった。

そして、1888 年には、イギリスが輸入する紅茶のうち、インド産が中国産を初めて上回った。その後のイギリスは、インド産やセイロン（現在のスリランカ）産の紅茶を世界各地

に供給するほどになった。これらの茶葉はロンドンでオークションにかけられ世界中に再輸出されるようになり、ロンドンは世界の紅茶の首都と呼ばれたほどだった。ロンドンには現在も紅茶専門店やオリジナルの紅茶を販売する店が多くある。これらの理由から、お茶の原産国ではないにもかかわらず、イギリスは紅茶の国として知られているのである。

さて、以下ではイギリス料理における通説について触れていきたい。いくつかの書籍やウェブサイトを参照したが、イギリス料理を手放しで称賛しているものはあまり見かけなかった。そこで、「イギリス料理は美味しくない」という通説について明らかにしていきたいと思う。

世界的にもイギリス料理がまずいという噂は、一種の常識になっており、イギリス人自身もブラックジョークのネタに使用するほどである。また、フランスのジャック・シラク元大統領が、プーチン大統領とドイツのシュレイダー元首相との立ち話で、「イギリス料理はフィンランド料理に次いで不味い」「あんな不味い料理を作る国民は信用できない」と漏らし、それが報じられてイギリス人の自嘲と反発を招いたこともあったそうだ。



スターゲイジー・パイ

なぜ、イギリス料理は美味しくないと感じるのだろうか。その理由としては、肉も野菜も原形を留めないほどに茹でたり、食材が黒くなるまで揚げたり、歯ごたえがなくなるまで麺を茹でたりなど、必要以上に調理してしまう傾向があることが挙げられる。また、イギリスでは伝統的に、料理するときにはあまり味付けをせず、食べる人が自分の好みに合わせて塩や酢などで味付けするのが前提とされていることも理由だと考えられている。



ウナギのゼリー寄せ

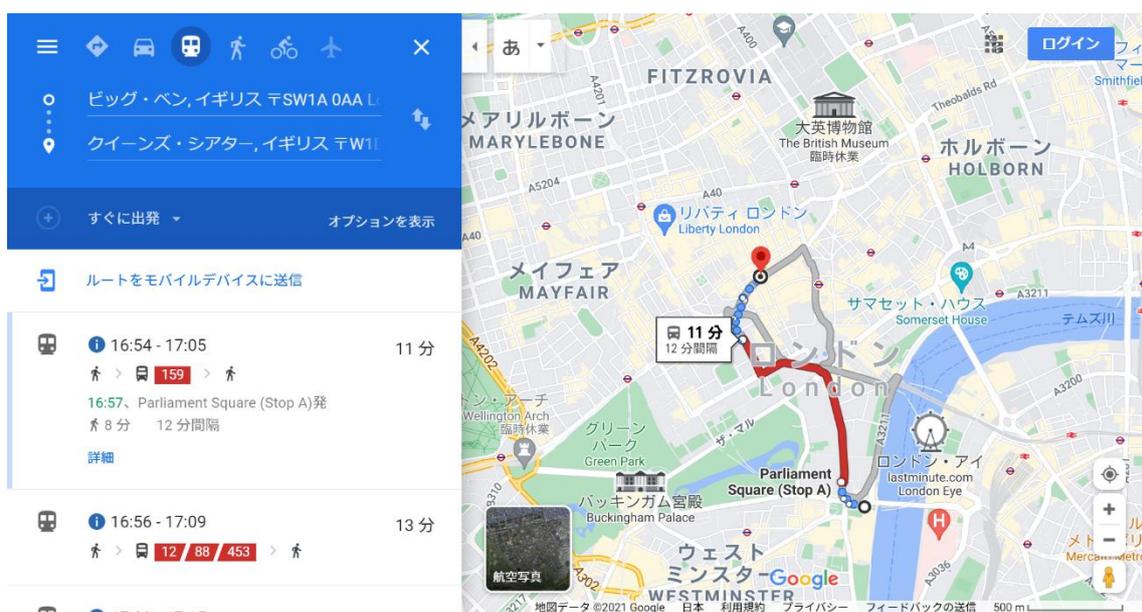
しかしながら、現在のイギリス料理は美味しくなったと言われている。様々な文化の影響で食に関心を持つ人が増えたことが大きな理由であると考えられている。また、ビールやウイスキーは評価されており、そもそも不味くないイギリス料理も多く、特にイギリスのお菓子は非常においしいものが多いそうだ。これについては、イギリス出身のLawrence先生からも同様の見解を得られており、今日では、イギリス料理がまずいとは言えないと思われる。

IV. 200198 永田優衣

1. ソンドハイムシアターとは

イギリスのソンドハイムシアター(旧クイーンズシアター)を調べた。ソンドハイムシアターとは、イギリスのロンドンにある劇場である。ミュージカル「レミゼラブル」が上演されている。

場所は、劇場街ピカデリーハウスの近くで、ビックベンから電車で約 11 分ほどである。

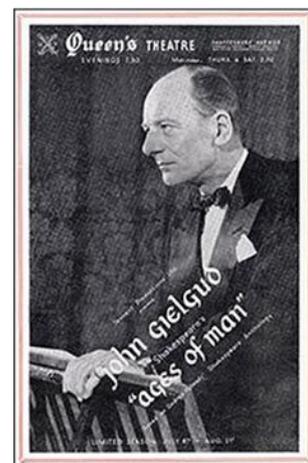


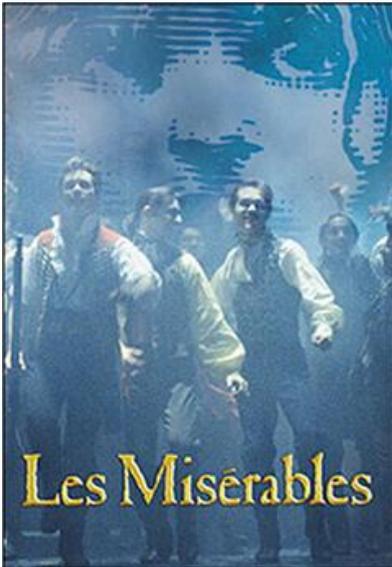
2. ソンドハイムシアターの歴史(旧クイーンズシアター)

①1907年10月8日、コメディである“The Sugar Bowl”という作品で劇場がオープンした。建築家のWGR Spragueによって、Gielgud Theatreとペアの劇場としてクイーンズシアターが設計された。

②1940年9月24日、第2次世界大戦のドイツの爆撃によって活動を停止した最初のウェストエンド劇場であった。

④ 1959年7月8日、“Ages of Man”で劇場が再開された。建築家のWestwoodSons&Partnersは、25万ポンドの費用で再建し、Sir Hugh Cassonが装飾のコンサルタントを務めた。





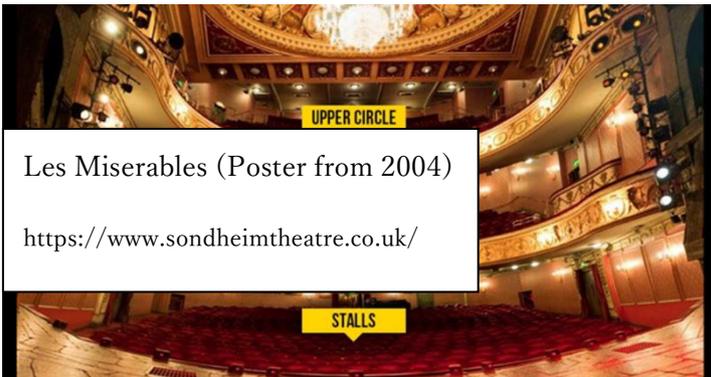
④2004年にウェストエンドで最も長く演奏されているミュージカルである「レミゼラブル」が上演される。クイーンズシアターで上演される前は、パレスシアターで上演されていた。

The age of man(1959)

<https://www.sondheimtheatre.co.uk/>

⑤2010年、クイーンズシアターは、レミゼラブル25周年を記念して改装された。2015年10月8日、レミゼラブルは1985年にBarbican Centreで最初に上演されてから30周年を迎え、2019年9月4日には14,000回目の公演を祝った。

⑥2019、作曲家のステイーブンソンドハイム生誕90周年を記念して、劇場がソンドハイムとして再開された。



Les Miserables (Poster from 2004)

<https://www.sondheimtheatre.co.uk/>

3. 劇場の構造

- ・席は、Stalls、Dress Circle、Upper Circleに分かれている。
- ・ソンドハイム劇場には軽食を販売するバーが設備されていたり、アイスクリームが販売されている。
- ・少し時間を取ってみたい場合は、劇場を出るように頼むことができ、静かな場所で、テレビ画面で公演を見ることができる。

V. 190151 鈴木日菜 イギリスの演劇について

1. ウィリアム・シェイクスピア(William Shakespeare)について

イギリス・ルネサンス演劇を代表する人物であり、イングランドの劇作家・詩人。彼が書いた *Hamlet Othello King Lear Macbeth* の四作品は「四大悲劇」と呼ばれ、世界中で上演されている。また、シェイクスピアは英語そのものに大きな影響を与えた

例) “critical” : ラテン語の “criricus” からきていると言われている。

“For I am nothing if not critical” / Othello

“Rant” : オランダ語の “randten” 「愚かに話す」 からきているとされている。

“Nay, an thou'lt mouth, I'll rant as well as thou.” / Hamlet

その他 : “Majestic” “Undress” “Lonely” “Generous” など



2. イギリスのミュージカルについて

イギリス首都ロンドンの地区ウェスト・エンドではミュージカルが盛んである。別名「シアターランド」とも言う。「ニューヨークのブロードウェイ」に対して「ロンドンのウェスト・エンド」が比較されることが多い。

ブロードウェイ

- ・「ダンス重視」
- ・豪華絢爛

代表作 : 「シカゴ」「クレイジー・フォー・ユー」など



ウェスト・エンド

- ・「音楽重視」
- ・印象的な音楽
- ・ドラマチックなストーリー

代表作：「キャッツ」「オペラ座の怪人」「ミス・サイゴン」など



3. まとめ

イギリスは演劇文化が盛んで様々な作品が生まれている。ストレートプレイ、ミュージカル共に興味深い作品が多くあることが分かった。今後機会があれば、イギリスで作られた演劇だけでなく、イギリスを舞台にした演劇作品にも注目してみたいと考えている。

7. Review

I. 190291 山本さくら

コロナウイルスの影響があり、実際イギリスに足を運ぶことはできなかったものの海外文化実習の授業を通して多くのことを学びとても意義深いものであったと感じている。その中でもイギリスの移民は食事や職業、看板や考え方など日常生活や文化的な面でもイギリスは日本よりも多くの点で影響を及ぼしていること、同じブランドのものでも、さりげないブランドロゴの物を身につける上流階級と明らかにそのブランドだと分かる物を身につける労働者階級のブランドへの意識の違い、ジェンダー教育をするにあたり、他人や自己を尊重するという根本的な教育を幼い頃から行っていることなどが印象深かった。また今回の授業で発表をするにあたり、どのようなことに興味を持ち研究テーマにすべきかということより深く考えられる時間ができたと感じている。周りの方の発表や先生方のレクチャーを聞き、新たな興味も生まれたため、自分の研究テーマに組み込んで行けたら良いと考えている。今回実際にイギリスに行くことができなかったが授業内やゼミでイギリスについて学習や研究したことを、コロナウイルスが終息した後には実際に足を運び現地で確かめたいと考えている。

II. 1900029 磯貝日和

海外文化実習の講義や発表を通じて、自分の関心のある分野への理解が深まったことに加え、他の方々に頂いた質問等から自分では考え付かなかった新たな着眼点を得ることができた。また、実際にイギリスを訪れてフィールドワークをする機会は得られなかったものの、サマーコースではそれぞれの先生から自身の体験を交えたイギリスの詳細な教育制度やNHSの制度について伺うことができ、非常に有意義な体験となったと感じる。加えて、自分の研究分野に関する質疑応答ではお二人の先生から異なる回答を頂いたため、イギリス内でも地域差があるなど興味深い発見があった。自分の研究テーマとして当初は「生理の貧困」問題だけに焦点を当てようと考えていたが、海外文化実習の講義とそこで得た意見を踏まえて学校教育に関する事など新たな興味生まれた。今後はこの講義で得た知識や関心を自身の研究テーマに加えつつ、慎重に内容を絞っていきたい。

Ⅲ. 190249 正山阿智

海外文化実習の講義やサマースクールを通して、イギリスの文化や社会について知識を深めることができたと思う。講義において、各自で興味関心のある事柄について調べ、まとめ、パワーポイントを制作し、発表するという流れも楽しかった。学生それぞれの関心のあつた事柄が異なつていて、毎回みんなの発表を聞くのが面白かつたし、幅広い分野に関して学ぶことができたと思う。サマースクールにおいては、機会がなければ話を聞くことができないイギリス生まれの先生方の講義を受講することができ、本やインターネットで見聞きする情報とはまた異なつた視点から、イギリスという国について知ることができたと思う。今年度は、現地イギリスに赴き、実際にフィールドワークをすることはできませんでしたが、オンラインツアーやサマースクールを通して、イギリスをより近くに感じられた。もし、今後イギリスに行くことができたなら、本講義で学んだことを活かし、鋭い観察眼を持ってイギリス社会の姿を捉えたい。

Ⅳ. 200198 永田優衣

前期の授業では、イギリスについて自分の興味のあるテーマを自分で設定できたので、自主的に楽しく取り組むことが出来た。また、自分の発表について他の人の意見をもらえる機会も多く、自分では思いつかなかつた考察やアドバイスが貰えた。他の人の発表では、同じメンバーは発表しているという点で、自分自身で調べるよりも分かりやすく、興味をもって聞くこと出来た。

実際にイギリスに行くことは出来なかつたが、2人のイギリスの方の話はとても参考になつた。イギリス出身である方から短期間でイギリスに関する様々なジャンルを学べる機会はなかなかないので、とても勉強になつた。ディスカッションでは日本との違いについて話し合うことで、イギリスの特徴だけでなく日本の特徴も理解することができた。印象に残つたことは、当たり前と思つていた日本の文化が、他の国ではまったく当たり前ではないことや、イギリス人から見た「日本」の印象を知ることが出来たことである。

今回、レミゼラブルがイギリスで大ヒットした理由をテーマにして実習に望んだが、講義のなかで小説や音楽、TVなどの娯楽は社会批判や皮肉を含んでいて、それに多くの人々が共感しているという話があつた。レミゼラブルにも戦争への皮肉が含まれている場面があるので、そのことも理由の一つとしてあげられるのではないかと感じた。

V. 190151 鈴木日菜

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、実際に現地を訪問することはできなかったが、教室内で対面にて講義と発表を行うことができたことは、学びにプラスの要素を与えてくれたと感じている。前期の授業内での発表を通し、興味のある分野について向き合うことができた。また、他の生徒の発表を通して、自分の調べたことから更に視野を広げ、考察することができたと感じている。夏季休暇中にオンラインで行われたサマーレッスンでは、実際に二人の講師から回答をいただき、実際に人へ尋ねることと客観的な視点で比較することの重要性を確認することができた。まだ研究分野は定まっていないが、卒業論文に向けての意識を持つことができたため、自分の興味関心がどこにあり、どう深めたいのか、この講義とゼミでの学びを活かしながら向き合っていきたいと思っている。

2021 年度 「海外文化実習」報告書

2022 年 3 月 25 日発行

監 修 加藤 千博

編 者 横浜市立大学 国際教養学部 国際文化コース 山本さくら・磯貝ひより

発行者 〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2 加藤ゼミ

電話 045-787-2256

*本報告書の印刷費用は学生教育費より助成をいただきました